



愛隣幼稚園・・・・・・・・・・・・・・・・

園だより

・・・・・・・・・・・・・・・・ 09.11月号

どんな人であって欲しいですか？

幼稚園の一年も半分を過ぎてしまいました。毎朝、門に立っていて気が付いたことがあります。当たり前ですが、子どもたちがそれぞれにひと回り大きくなって、なんだか幼稚園全体が少し窮屈そうに見えてきました。4月にはもうちょっと隙間があった筈なのに・・・。中でも成長著しいのは、たんぼ組の子ども達。身長・体重が増えている事に加えて、背中がすーっと伸びてきました。春にはまだ赤ちゃんを卒業しきれていなかったことが、今になってははっきりわかります。足から腰、背中、肩、首にかけてやや丸みを帯びた姿勢から、腰が少し前に出て、姿勢を支える筋肉も発達してきたことが見てとれます。でも、体が成長しただけではない事にも、私たちは気付かされます。内面の成長もこの背筋の伸びた姿勢を支えているのです。赤ちゃんはすっかり卒業です。家族の中で愛され守られてきた人が、ひとり、幼稚園という社会に踏み出した。たった半年の経験はこんなにも大きいことなのです。自立への大きな一歩を確実に踏み出しているのです。

こんなパロディーが紹介されていました。(苦笑いしながらも、ちょっと痛い、そして反省)

雨ニモアテズ(「雨ニモマケズ」宮沢賢治より)

雨ニモアテズ、風ニモアテズ、雪ニモ夏ノ暑サニモアテズ、
ブヨブヨノ体ニ、タクサン着コミ、意欲モナク、体力モナク、
イツモブツブツ、不満ヲイッテイル、
毎日、塾ニ追ワレ、テレビニ、吸イツイテ遊バズ、
朝カラ、アクビヲシ、集会ガアレバ、貧血ヲオコシ、
アラユルコトヲ、自分ノタメダケ考エテカエリミズ、
作業ハグズグズ、注意散漫スグニアキ、ソシテスグ忘れ、
立派ナ家ノ、自分ノ部屋ニ閉ジコモッテイテ、
東ニ病人アレバ、医者ガワルイトイイ、
西ニツカレタ母アレバ、養老院ニ行ケトイイ、
南ニ死ニソウナ人アレバ、寿命ダトイイ、
北ニケンカヤソショウガアレバ、ナガメテカカワラズ、
ヒデリノトキハ、冷房ヲツケ、ミンナニ、勉強勉強トイワレ、
叱ラレモセズ、コワイモノモシラス、
コンナ現代ッコニ、ダレガシタ

今日のこの子、せいぜい先でも1年ぐらい。気を付けていないと私たちは、そんな目先のことしか考えずに子育てをしていませんか？一体全体、どんな人になって欲しいと私たちは願っているのでしょうか？そのために私たちができることは、なんでしょう。時々立ち止まって、冷静に客観的に20年位先の子どもの姿を思い描くことも大切ではないでしょうか。間に合ううちに・・・